

6. 競争的研究資金獲得状況

○看護学専攻

| 氏名・職 | 資金提供元 | 代表・分担 | 研究題目 |
|----------|---|------------------------|--|
| 石松祐二・教授 | 「長崎県地域医療の研究支援を目的とした医師団」研究補助金 | 代表 | インフルエンザ後の肺胞マクロファージの細菌貪食能への影響およびマクロライドの効果 |
| 石松祐二・教授 | 「長崎県地域医療の研究支援を目的とした医師団」研究補助金 | 分担 | 間質性肺疾患の特徴と労作後の指標の関連性についての臨床的検討 |
| 大西真由美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金基金 基盤研究 (C) 日本人留学生の海外における性行動とその関連要因に関する研究 |
| 大西真由美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金基金 基盤研究 (C) 結核等の健康課題をもつ刑事施設被収容者等の包括的継続健康生活支援 |
| 大西真由美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金基金 基盤研究 (C) 震災復興過程における育児困難感を軽減するソーシャルサポート要件 |
| 大西真由美・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽) 薬物事犯による刑事施設入所中の累犯受刑者の保健医療ニーズと社会生活定着要件 |
| 花田裕子・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) トラウマを抱えた子ども・若者の養育者を対象とした包括的移行支援プログラムの開発 |
| 永江誠治・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 児童精神科における服薬アドヒアランス評価尺度の精度向上を目的とした質的研究 |
| 平野裕子・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 認知症の認識とケアに関する研究—EPA で来日する看護師の教育と支援に向けて |
| 平野裕子・教授 | Economic Research Institute for ASEAN and East Asia | Principal Investigator | Transfer of the Japanese oral care technology to Indonesia: A study on the realities of the oral care of Indonesian care workers residing in Japan |
| 本田純久・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 要介護高齢者と家族が在宅介護を選択した時にもたらされる潜在的経済価値 |
| 本田純久・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成し、インフォームド・アセントに至るのか |
| 本田純久・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 高齢化する被爆者における認知機能と精神健康コホート研究 3年後フォローアップ調査 |
| 本田純久・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) なぜ人々は聖水治療を求めるのか:エチオピア北部聖地の事例研究 |
| 本田純久・教授 | 国立がん研究センター | 分担 | がん研究開発費 |

| | | | |
|-----------|----------|----|---|
| | | | 共同研究グループのデータセンター間の連携によるがん治療開発研究の効率化と質的向上のための研究 |
| 澤井照光・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 地域における多施設・多職種協働体制強化により推進するストーマケアの標準化 |
| 江藤宏美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (A) テラーメイドな出産・育児を促進するオキシトシン活性化プログラムの開発と普及 |
| 江藤宏美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) ICTを活用したDVハイリスク妊婦への支援プログラムの開発と評価 |
| 江藤宏美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 女性活躍推進時代に働く女性と男性の地域包括子育て母乳育児支援プラットフォーム構築 |
| 江藤宏美・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 骨盤底機能障害を予防する助産ケアのプログラム開発 |
| 永橋美幸・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 妊婦の腹部を介した胎児へのタッチングと胎児愛着との関連～オキシトシンの推移から～ |
| 中尾理恵子・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 斜面市街地に暮らす住民のレジリエンスと認知症予防の地域づくり |
| 森藤香奈子・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究 |
| 森藤香奈子・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討 |
| 大町いづみ・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 地域特性に基づく在宅ターミナルケアとソーシャルキャピタル醸成の在り方に関する研究 |
| 松浦江美・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 膠原病患者の外来におけるセルフマネジメントの現状及び介入効果の多角的検討 |
| 松浦江美・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 統合失調症者のリカバリーとスポーツ科学に関する研究 |
| 松浦江美・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 患者力を高めるためのシミュレーション患者教育プログラムの開発と介入効果 |
| 永田明・准教授 | 日本看護診断学会 | 代表 | 看護診断「転倒転落リスク状態」の根拠レベル向上に向けた研究 |
| 上野和美・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 膠原病患者の外来におけるセルフマネジメ |

| | | | |
|----------|---------|----|---|
| | | | ントの現状及び介入効果の多角的検討 |
| 吉田浩二・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 若手研究 (B) 放射線災害対応の教訓をもとにした放射線看護教育パッケージの開発と評価 |
| 黒田裕美・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討 |
| 本多直子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 思春期慢性疾患患者の復学支援アセスメントツールの開発 |
| 本多直子・助教 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 小中学生を対象とした遺伝教育プログラムの開発と評価に関する研究 |
| 佐々木規子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) プラダー・ウィリー症候群のある児が社会的適応を促進する為のベストプラクティス開発 |
| 佐々木規子・助教 | 厚生労働省 | 分担 | 厚生労働科学研究 出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究 |
| キット彩乃・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 若手研究 1歳6か月児を持つ母親の育児不安と内的作業モデルの関連性 |
| 橋爪可織・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 子供を持つ乳がん患者への複合型サポートグループプログラムの有効性の検証 |
| 大山祐介・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 若手研究 (B) 災害時における糖尿病患者の準備状況の解析に基づくセルフマネジメントプログラム開発 |
| 田中準一・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 脳卒中患者に対する環境調整介入によるせん妄予防効果の検証 |
| 西原三佳・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 震災復興課程における育児困難感を軽減するソーシャルサポート要件 |

○理学療法学専攻

| 氏名・職 | 資金提供元 | 代表・分担 | 研究題目 |
|---------|---------|-------|---|
| 沖田 実・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 変形性膝関節症における慢性疼痛の予防戦略としての運動療法の確立に向けた実験的研究 |
| 沖田 実・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) がん性疼痛に対する経皮的電気刺激のエビデンス構築と新適用法開発を目指す多施設研究 |
| 折口智樹・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) |

| | | | |
|-----------|---------|----|---|
| | | | 膠原病患者の外来におけるセルフマネジメントの現状及び介入効果の多角的検討 |
| 折口智樹・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 自己炎症疾患研究から解明する新規骨量制御機構 |
| 神津 玲・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 間質性肺疾患に対する新しい高流量酸素投与システムを利用した運動療法効果の検証 |
| 神津 玲・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 敗血症に対する電気刺激の筋蛋白分解への影響と理学療法の探索 |
| 神津 玲・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) COPD に対する呼吸介助の新たな治療戦略—生理学的指標と運動耐容能からの検証— |
| 小関弘展・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 骨微細構造と骨強度による不動性骨萎縮の病態解明と対策法の確立 |
| 小関弘展・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) バイオフィルムによるインプラント感染症撲滅への新たな戦略 |
| 坂本淳哉・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 変形性膝関節症における慢性疼痛の予防戦略としての運動療法の確立に向けた実験的研究 |
| 坂本淳哉・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) がん性疼痛に対する経皮的電気刺激のエビデンス構築と新適用法開発を目指す多施設研究 |
| 鶴崎俊哉・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) ハイハイ動作の変化からみた運動学習の特徴は幼児期の能力に影響するか |
| 中野 治郎・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) がん性疼痛に対する経皮的電気刺激のエビデンス構築と新適用法開発を目指す多施設研究 |
| 田中貴子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) COPD に対する呼吸介助の新たな治療戦略—生理学的指標と運動耐容能からの検証— |
| 田中貴子・助教 | 日本学術振興会 | 分担 | 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 間質性肺疾患に対する新しい高流量酸素投与システムを利用した運動療法効果の検証 |
| 平瀬達哉・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 科学研究費補助金 若手研究 (B) 高齢者の慢性疼痛対策としての予防重視型介入戦略の開発とその効果検証 |

○作業療法学専攻

| 氏名・職 | 資金提供元 | 代表・分担 | 研究題目 |
|----------|---------|-------|--------------------------------|
| 東嶋美佐子・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 認知症の進行に伴う嚥下機能の経時的変化 |

| | | | |
|----------|-------------------|------------|---|
| | | | と並走する誤嚥リスク回避策に関する臨床研究 |
| 東嶋美佐子・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(B) 数理モデルからの知識の転移と学習およびその医工学応用 |
| 東嶋美佐子・教授 | 東アジア・アセアン経済研究センター | 分担 | 日本の口腔嚥下ケアのインドネシアへの技術移転に関する基礎的研究 |
| 田中悟郎・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 精神障害者ピアサポーター養成プログラムの包括的な評価研究 |
| 田中悟郎・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 地域で活用できる認知症予防プログラム「脳ケア」のビッグデータを用いた有用性の検討 |
| 田中悟郎・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 高齢化する被爆者における認知機能と精神健康コホート研究 3年後フォローアップ調査 |
| 田中悟郎・教授 | 文部科学省 | プロジェクトリーダー | 障害者の生涯学習活動への地域包括的支援 |
| 中根秀之・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 高齢化する被爆者における認知機能と精神健康コホート研究 3年後フォローアップ調査 |
| 中根秀之・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 精神障害者ピアサポーター養成プログラムの包括的な評価研究 |
| 中根秀之・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 挑戦的研究(萌芽) 薬物事犯による刑事施設入所中の累犯受刑者の保健医療ニーズと社会生活定着要件 |
| 中根秀之・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 地域で活用できる認知症予防プログラム「脳ケア」のビッグデータを用いた有用性の検討 |
| 東 登志夫・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 三次元 VR 環境による新しい半側空間無視の評価・訓練システムの開発と有用性の検討 |
| 東 登志夫・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) シルバーカーから歩行車への変更が要介護高齢者の身体活動量に及ぼす効果 |
| 東 登志夫・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) プリズム順応が 360° 水平空間における音源定位(多方向性注意)に与える効果検証 |
| 佐藤克也・教授 | 日本医療研究開発機構(AMED) | 代表 | プリオン病の早期診断基準の作成を目指した新たなエビデンス創出とその検証に用いる遺伝性プリオン病未発症例の臨床調査と画像・生体材料の収集 |
| 佐藤克也・教授 | 日本医療研究開発機構(AMED) | 分担 | レビー小体型認知症(DLB)の病原性蛋白質αシヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発 |

| | | | |
|----------|---------|----|--|
| 佐藤克也・教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) プリオン病の革新的な非侵襲的な診断法の開発 |
| 佐藤克也・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) クロイツフェルト・ヤコブ病のタイプを鑑別可能なコンビネーション QUIC 法の構築 |
| 佐藤克也・教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 脳梗塞に対する細胞移植・再生医療における健常対側大脳半球の制御メカニズム解明 |
| 村田 潤・准教授 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 手指感覚トレーニングに伴う脳皮質活性の変化と手指血流応答の関連性 |
| 村田 潤・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(B) 効果的で継続しやすい介護予防プログラムの開発とシステム構築 |
| 村田 潤・准教授 | 日本学術振興会 | 分担 | 挑戦的研究(萌芽) パーキンソン病者が安全に行える「指リズム歩行トレーニング」の開発 |
| 徳永瑛子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 生後1週間内の行動と3歳時点での自閉スペクトラム症のリスクの関係 |
| 徳永瑛子・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 基盤研究(C) 拡散テンソル画像による自閉スペクトラム症児に対する運動訓練の効果検証 |
| 徳永瑛子・助教 | 日本学術振興会 | 分担 | 基盤研究(C) 児童精神科における服薬アドヒアランス評価尺度の精度向上を目的とした質的研究 |
| 森内剛史・助教 | 日本学術振興会 | 代表 | 若手研究 実践的な運動イメージ評価の確立に向けた多面的評価視点からの検討 |